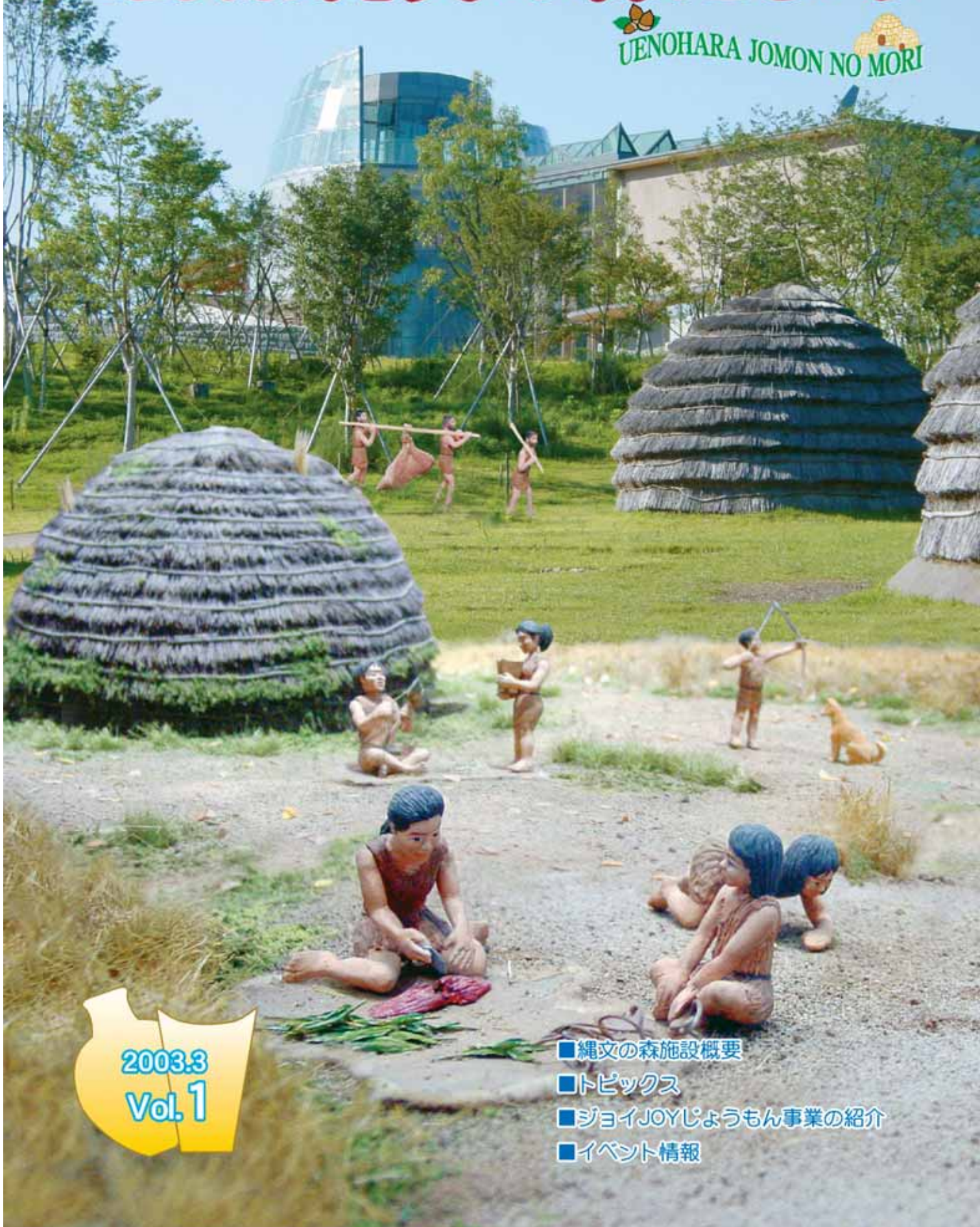


# 上野原縄文の森だより

UENOHARA JOMON NO MORI



2003.3  
Vol. 1

- 縄文の森施設概要
- トピックス
- ジヨイJOYじょうもん事業の紹介
- イベント情報

## 縄文の森施設概要

ここは、縄文の世界と向き合い  
ふれあい・学び・親しむ場



鹿児島県の中央、北に霧島連山、南に桜島や錦江湾を望む国分市の標高約260mの高台にあり、約9500年前の竪穴住居跡や調理施設とされる集石遺構、連穴土坑などが発見され、南九州地域における定住化初期の様相を典型的に示す集落跡として全国的に注目されている「上野原遺跡」。

鹿児島県は、この歴史的文化遺産「上野原遺跡」を保存・活用するため、時空を超えて縄文時代のくらしぶりを体感できる施設を整備し、『鹿児島県上野原縄文の森』として、昨年10月5日にオープンしました。

上野原縄文の森は広さ約36㌥（東京ドーム約8個分）。広大な園内は、落葉広葉樹の森の中に「展示館」や「遺跡保存館」・「復元集落」などがある『見学エリア』と、照葉樹の森の中に「体験学習館」や「県立埋蔵文化財センター」・「祭りの広場」などがある『体験エリア』の二つに分かれています。



(写真 上：県立埋蔵文化財センター 下：上野原縄文の森展示館)

## 開園記念式典・開園記念イベント

オープン当日の午前中は、須賀龍郎鹿児島県知事をはじめ関係者約350人の出席のもと、開園記念式典が行われ、式典の後は須賀知事や谷口義一前国分市長らによる記念植樹やテープカットで開園を祝いました。午後からは、田川園長と国分市内の幼稚園児や小・中学校の代表者によるくす玉割りが展示館玄関で行われ、一般公開がスタート。この日を待ちこがれた多くの見学者が縄文の世界を堪能していました。

また、開園記念イベントとして「縄文体験コーナー」や「上野原縄文の祭2002」（国分市主催）も3日間開催され、約13,000人の見学者でにぎわいました。



# 上野原台地に生きた人々の歴史

上野原遺跡は、鹿児島県国分市東部の標高約260mの台地に位置します。

約9,500年前には定住したムラがつくられ、また約7,500年前には儀式を行う場として、森の恵みを受け、縄文時代の早い段階から多彩な文化が開花し、個性豊かな縄文文化がぎざかれました。約3,500年前にはおとし穴をつくり、狩り場となり、約2,500年前～約2,000年前、約1,600年前～800年前にかけては、再び台地上に人々が住みムラをぎざぎざしました。また、第2次世界大戦中には軍事施設もつくられ、戦後は畑として広く利用されていたことがわかりました。

## 約9,500年前（縄文時代早期前葉）国指定史跡

### 定住化初期の大集落

上野原台地の北側には、2条の道筋に沿った52軒の竪穴住居群を中心に、65基の集石や16基の渡穴土坑などの調理施設をもった集落（ムラ）が発見されました。南九州地域における定住化初期の様子を知る大集落といえます。



なお、これらの住居の中には住居が重なり合っていることや、埋まり方に違いがみられることから、建てられた時期に差があり、ムラは長期間にわたって営まれていたことがわかりました。

## 約7,500年前（縄文時代早期後葉）国重要文化財

### まつり・儀式の場

台地南側の最も高い所にはひとつの穴に丸と四角の口をもつ2個の壺形土器が完全な形で埋めてありました。

また、その周りには壺形土器や鉢形土器を埋めた11か所の土器埋納遺構と石斧を数本まとめて埋めた石斧埋納遺構が見つかり、さらに、これらを取り囲むように、日常使用した多くの石器や割られた土器などが、置かれた状態で出土しました。



この場所はまつりなどの儀式が行われた場と考えられています。

## 約6,000年前（縄文時代前期）

この時期の住居跡は発見されてはいませんが、台地の南側ではおとし穴と集石遺構が見つかり、一時的な狩り場や調理の場となりました。

## 約3,500年前（縄文時代後期）

台地南側の斜面に近い場所からは、深さ2mから3mのおとし穴が長さ約400m、東西方向に2列にみどりつかり集団で動物を追い込む狩り場となりました。



## 約2,500年前（縄文時代晩期）

台地の北側がおもな生活の場で、竪穴住居や掘立柱建物などが発見されました。建物の周辺にはドングリなどが入った「貯蔵穴」があり、森からの恵みを受けていました。



## 約2,000年前（弥生時代中期～後期）

台地北側には、東西約500mの範囲にムラが営まれ、竪穴住居や掘立柱建物、長さ100mの柵列も発見されました。またイネの植物の痕跡やモモの種も見つかりました。



## 約1,600年前（古墳時代～現代）

古墳時代は竪穴住居1軒、中世は掘立柱建物8軒、第2次世界大戦の探照灯跡が発見され、戦後はイモなどの耕作地となりました。



## 全体MAP

中央の道路を隔てて右側が「見学エリア」、左側が「体験エリア」です。見学エリアには、約9500年前の気候をもとに「落葉広葉樹」など、体験エリアには、約7500年前の気候をもとに「照葉樹」など、両エリア合わせて約3万本植栽し、縄文時代の森を再現しています。

### 体験エリア

- ⑥ 県立埋蔵文化財センター
- ⑦ 体験学習館
- ⑧ 古代家屋群
- ⑨ 展望の丘
- ⑩ アスレチック
- ⑪ 祭りの広場

### 見学エリア

- ① 上野原遺跡
- ② 遺跡保存館
- ③ 復元集落
- ④ 地層観察館
- ⑤ 上野原縄文の森展示館



# 施設概要 見学エリア



## ■常設展示室入口

竪穴住居をイメージした国内でも最大級の和紙による立体ドーム。床面のタイムロードが縄文の世界へと誘います。



## ■常設展示室1

### 【上野原遺跡の世界】

床下に9500年前の上野原のムラをジオラマで再現。

壁面には縄文の森の四季や縄文土器などのイメージ映像を映写しています。



## ■常設展示室2

### 【7500年前の上野原】

上野原遺跡から出土した7500年前の土器や石器などの重要文化財を展示しています。



## ■常設展示室3

県内の縄文遺跡を紹介する【南の縄文文化】や旧石器から近世までの出土品を圧倒的な数で展示する【考古学ギャラリー】、食のコーナー、体験コーナーなど様々な角度から展示紹介しています。



## ■企画展示室

年4回程度、企画展が開催されます。



定員約80名。  
1日7回上映しています。



## ■常設展示室2

### 【9500年前の上野原】

9500年前の上野原台地周辺やそこで暮らす人々の生活をジオラマで再現しています。

## ■縄文シアター

縄文時代の上野原のムラの生活をストーリー形式で紹介しています。(上映時間約20分)

## ■展望所 (3階)

霧島連山や周辺のシラス台地、桜島が一望できます。



レストラ  
ン

▲座席数は約80席。  
売店も併設しています。

## 上野原縄文の森展示館

上野原縄文の森のメイン施設。

上野原遺跡からの出土品のうち、重要文化財を中心に展示しているほか、縄文シアターやジオラマなどで縄文文化をわかりやすく紹介しています。



# 9500年前すでに上野原にはムラがあり 豊かな定住生活が営まれていた…

## ■上野原遺跡（国指定史跡）

錦江湾を望む縄文時代早期前葉（約9500年前）の遺跡です。

2条の道筋に沿った52軒の竪穴住居を中心に、65基の集石遺構や16基の連穴土坑などの調理施設をもったムラが発見されました。南九州地域における定住化初期の様子を示す大集落です。



▲平成11年1月14日、国の史跡に指定（56,522㎡）。  
竪穴住居跡と道跡の位置をマーキングしてあります。

## ■遺跡保存館

発掘された「上野原遺跡」の一部をそのまま観察できる半地下式のドームになっています。竪穴住居（3軒）、連穴土坑（1基）、土坑（20基）、集石遺構（3基）を公開しています。

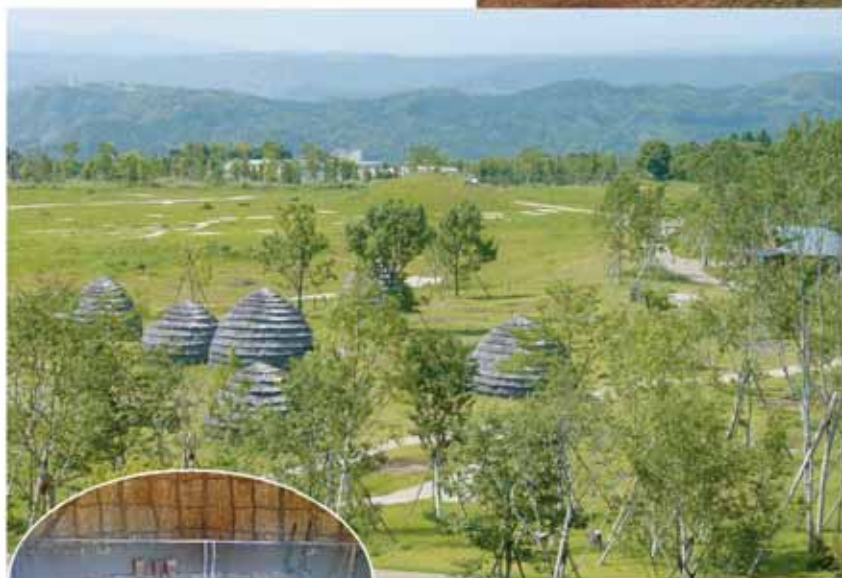


## ■復元集落

竪穴住居10軒をはじめ、調理施設と考えられる集石遺構や連穴土坑など約9500年前の縄文時代のムラを復元しており、ここに立てば当時の暮らしぶりがかげえます。

（想定復元された竪穴住居は自由に出入りできます。）

住居の中は、意外と夏は涼しく、冬は暖かいですよ。



## ■地層観察館

上野原遺跡の時代判定の決定的な証拠となった、桜島の噴火によって堆積した火山灰層や24000年前のシラス層など、上野原台地の生きた地層を見学することができます。



▶火山灰層は特定の年代を示しているため、広い範囲の文化を相互に比較できます。



# 施設概要 体験エリア

## ■体験学習館

屋内・屋外を問わず様々な体験活動ができる施設です。  
 屋内では、古代のアクセサリー（まが玉など）作りや当時の衣服製作工法と考えられている「アングン編み」などが体験できます。  
 また、屋外では、「火起こし体験」をはじめ、連穴土坑を使った「くん製料理」、集石を使った「石蒸し料理」などの縄文食作りも体験できるようになっています。



▲体験学習館は80名収容可能。屋内・屋外に工作台があるほか、体験学習用の連穴土坑や集石、竪穴住居も備えられています。



▲火起こし



▲アクセサリー作り

子供から大人まで楽しめます。ぜひ縄文人の暮らしを体感してください。



## 体験メニュー

- ・火起こし（無料）
- ・アングン編み（無料）
- ・アクセサリー作り（1セット200円）
- ・くん製料理（食材持込）
- ・石蒸し料理（食材持込）
- ・縄文ウォークラリー（無料）



▲体験学習館では、縄文の森を活用した「じょうもん体験」も開催しています。  
 （写真はアングン編み（壁かけ作り）の様子）



▲連穴土坑を使った、「くん製卵」作り  
 トンネルでつながれた大小2つの穴の大きな穴（手前）で火をたき、その煙で小さな穴（奥）の上においた卵をいぶします。1時間ぐらい経つとおいしいくん製卵ができあがります。縄文人の発想ってすごいですね。

## ■古代家屋群

県内各地で発見された、縄文時代から古墳時代までの住居5軒を想定復元しています。

実際に中に入ると、時代や地域による違いが分かりますよ。

- ・九日田遺跡（縄文後期 牧園町）
- ・ウフタ遺跡（弥生前期 籠郷町）
- ・六ツ坪遺跡（弥生前期 日吉町）
- ・上野原遺跡（弥生中期 国分市）
- ・長田遺跡（古墳前期 有明町）



# 歴史と大自然が一体になった空間

## 身も心も風になる場所…



ぎっこん丸太渡り

### ■アスレチック

10種類の遊具を設置しています。アスレチックの中央には小川が流れているため、川をはさんで設置してある「縄渡り」や「ぎっこん丸太渡り」などはスリル満点です。

ほかには、「丸太クライミング」や「ターザンロープ」、「イノシシの落とし穴」や「土器ネット」といった縄文の森らしい遊具もあります。



### ■県立埋蔵文化財センター

県内の埋蔵文化財に関わる発掘調査や研究を行なう教育機関。昨年4月に始良町から縄文の森園内に移転し、縄文の森と連携し、広く埋蔵文化財や南の縄文文化に関する情報発信を行っています。土器や石器など出土品の整理作業風景が見学できるほか、報告書などの資料を閲覧できる図書室もあります。



Experience Area

### ■祭りの広場

広さ約15ヘクタールの円形の多目的広場です。イベント会場のほか、お弁当を食べたり、レクリエーション活動をしたりと幅広く活用されています。



青空の下で  
食べるお弁当  
はおいしいよ。



### ■展望の丘

体験エリアにある展望の丘からは、桜島や錦江湾、霧島連山を一望できます。

天気が良ければ遠くは開聞岳まで見ることができます。360度のパノラマは気分爽快です。



## 入園者数10万人突破！



2月27日、縄文の森の入園者数が開園から約5ヶ月で10万人を突破。記念セレモニーを行いました。幸運の10万人目となった東京都稲城市の喜多正さん（67）は「初めて来たのに10万人目でびっくりした。良い記念になりました。」と喜びを話されました。

◀写真中央が喜多さん

## 雪化粧の縄文の森

県内全域で積雪があった1月5日、上野原台地も約5cmの雪化粧。

縄文の森も雪ですっぴりとおおわれ、とても美しい銀世界が広がっていました。



## 東京でも縄文の森をPR

1月23日に東京で行なわれた、第18回「鹿児島県の夕べ」に出展し、関東在住の県出身者や一般の方々に縄文の森を広くPRしました。

整備された縄文の森を見て皆さん驚いておられました。



## オカリナ奏者『宗次郎』さんがイメージソングをプレゼント



オカリナ奏者宗次郎さんが昨年の9月27日縄文の森を訪れ、上野原遺跡をイメージして制作した曲、「アイライケレII～縄文の夢～」を上野原縄文の森のイメージソングとして贈呈してくれました。

当日は、展示館を見学した後、縄文の森の復元集落でこの曲を演奏、オカリナの調べが9500前の縄文のムラに響きわたりました。

曲名のアイライケレとはアイヌ語で「ありがとう」という意味。贈られた曲は、開園・閉園時に流れています。

## 「縄文のムラ」を守れ！ 「防火・防災訓練」を実施



1月24日、文化財防火デー（26日）に先だって防火・防災訓練を行いました。

復元集落内の竪穴住居から出火したとの想定で、当園や隣接する県立埋蔵文化財センターの職員、国分中央消防署員ら約150人が参加しました。



訓練では、職員がお客様を避難誘導しながら、バケツリレーや消火器で初期消火を行い、通報を受けて出動したはしご車からの放水も行われました。

## 故高円宮殿下がご視察



曾於郡輝北町で開催された、第14回「星空の街・あおぞらの街」全国大会にご出席された故高円宮殿下が、昨年の10月11日、オープン間もない縄文の森をご視察になりました。

在りし日の殿下は、田川園長らの説明に熱心に聞き入っておられました。

心よりご冥福をお祈りいたします。



# ジョイ JOY じょうもん事業

県民の埋蔵文化財への幅広い関心や自然とのふれあい志向の高まりに対して、先史文化について学ぶ機会を提供するとともに、縄文の森を活用したウォーキングや縄文体験活動などを通して、鹿児島県の歴史文化への関心を高めることを目的とした事業です。平成14年度は次のような事業を行いました。

## 縄文の森セミナー

○対象 一般（各回40名）

○期日・内容

- 11月16日 草木染め・アンギン編み
- 12月7日 いろいろな編み機作りとそれを活用した編み物
- 2月8日 ドングリクッキーと装飾具作り
- 3月1日 縄文レシピ（蒸し料理・くん製料理作り）



アンギン編み

編み機作り

## 縄文の森生活体験

○対象 小・中学生と保護者（各回40名）

○期日・内容

- 11月23日 遊びと体験「作る・食べる」  
（アンギン編み・くん製卵作り）
- 12月21日 遊びと体験「作る・食べる」  
（ドングリクッキー作り）
- 2月15日 土器の接合
- 3月15日 土器の接合・拓本



ドングリクッキー作り

土器の接合

## 縄文 ネット うえのはら事業

縄文の森に関する様々な情報を収集・発信することで、鹿児島県の歴史・文化への関心や埋蔵文化財保護への理解を深めてもらうことを目的とした事業です。平成14年度は次のような事業を行いました。

○開園記念特別企画展（H14.10.5～12.8）

かごしま考古名品展—過去から未来へ—

○第2回特別企画展（H14.12.15～H15.2.9）

再発見！鹿児島県の歴史—よみがえる古代の形—

○第3回特別企画展（H15.2.15～3.30）

新発見！かごしまの遺跡



開園記念特別展



第2回特別展

## ウォーキングin上野原縄文の森

○期日・内容

- 2月22日 9500年コース（約6km）
- 7500年コース（約4km）
- 3500年コース（約2km）

当日は雨模様ながら300名が参加。上野原遺跡に関する問題を解きながら各コースを歩きました。ゴール後は縄文鍋やくん製卵、石蒸しイモも振る舞われました。



# ジョイJOYじょうもん体験

## ■1日体験コース

場 所 上野原縄文の森体験学習館  
 期日・内容 (10月分まで)  
 5月 3日(土)「縄文のあそび」  
(縄文人に扮して(縄文祭典大会)、弓矢づくりと部活大会)  
 6月21日(土)「みんなで縄文のムラをつくろう」  
(粘土や自然の素材を使っての模型づくり)  
 8月 9日(土)「草木の七変化」  
(野草からの縄文づくり)  
 8月23日(土)「草木のシンフォニー」  
(野草からつくった縄文での染めと編み)  
 9月20日(土)「森の音楽会」  
(土笛づくりと草笛づくり)  
 10月18日(土)「木の実で遊ぶ1日」  
(小枝やドングリを使った縄文づくり)  
 時 間 各回10:00～15:00(季節によって変更あり)

## ■1泊2日体験コース

場 所 上野原縄文の森園内  
 期 日 ① 7月19日(土)～20日(日)  
 ② 7月26日(土)～27日(日)  
 ③ 8月 2日(土)～ 3日(日)  
 内 容  
 ①「イカダづくりと水遊び」「ナイトハイク」「竪穴住居宿泊」等  
 ②「カブトムシ相撲大会」「ナイトハイク」「竪穴住居宿泊」等  
 ③「縄文土器づくり」「ナイトハイク」「竪穴住居宿泊」等  
 時 間 各回10:00～翌日13:00

定 員 各回小学生以上40名  
 参加料 1日体験コース 100円(保険料)  
 1泊2日体験コース 300円(保険料)  
 申込方法 希望コース、希望日、氏名、年齢、連絡先等を明記のうえ、はがき、FAX、Eメールのいずれかで申し込んでください。  
 申込締切 実施日の2週間前まで



# 平成15年度特別企画展

場 所 上野原縄文の森展示館 企画展示室  
 期間・内容

- 第1回 4月～6月  
 収藏品展「かごしまの先史文化」
- 第2回 7月～10月  
 特別展「よみがえる古代人」
- 第3回 10月～1月  
 収藏品展「地域の中の考古学」
- 第4回 2月～3月  
 速報展「新発見!かごしまの遺跡」

※期間・内容は変更がある場合があります。

## ■上野原縄文の森青空シンポジウム

期 日 10月4日(土)  
 内 容 環境考古学分野のパネリストや参加者を交えた討論会

## ■ウォーキングin縄文の森

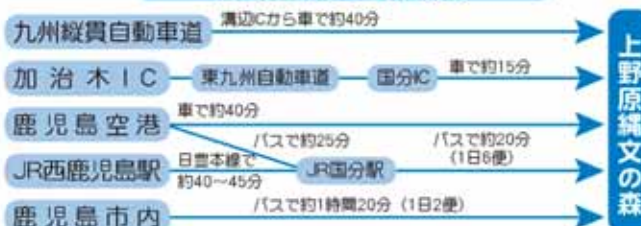
期 日 11月1日(土)  
 内 容 9500年コース(約6km)  
 7500年コース(約4km)  
 3500年コース(約2km)

## こどもの日無料開放

5月3日「こどもの日」は、鹿児島県内にお住まいの小学生・中学生の観覧料(上野原縄文の森展示館)が無料となります。  
 ぜひこの機会にご観覧ください。

【開園時間】午前9時～午後5時  
(7月1日～8月31日は午前9時～午後7時)  
 【休園日】毎月第1・第3月曜日(休日の場合は翌日)  
(4月29日～5月5日、7月21日～8月31日は無休)  
 12月30日～1月1日(年末年始)  
 【観覧料】(団体は20名以上)  
 ◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円  
 ◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円  
(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として観覧するとき等は減免措置有り)

## 交通のご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森  
 〒899-4314 鹿児島県国分市川内1376番地1 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704  
 URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: [uenohara@jomon-no-mori.jp](mailto:uenohara@jomon-no-mori.jp)